

小田原市立病院経営改革プランの素案に対する市民意見の募集結果について

1 意見募集の概要

政策等の題名	小田原市立病院経営改革プラン
政策等の案の公表の日	平成28年12月15日（木）
意見提出期間	平成28年12月15日（木）から平成29年1月13日（金）まで
市民の周知方法	意見募集要項の配布（市内公共施設、ホームページ）

2 結果の概要

提出された意見は、次のとおりです。

意見数（意見提出者数）	2件（1人）
インターネット	1人
ファクシミリ	人
郵送	人
直接持参	人

無効な意見提出	人
---------	---

3 提出意見の内容

パブリックコメントで提出された意見の内容とそれに対する市の考え方は、次のとおりです。

〈総括表〉

区分	意見の考慮の結果	件数
A	意見を踏まえ、政策等に反映したもの	
B	意見の趣旨が既に政策等に反映されているもの	1
C	今後の検討のために参考とするもの	
D	その他（質問など）	1

〈具体的な内容〉

（1）建替えに関すること

	意見の内容（要旨）	区分	市の考え方（政策案との差異を含む）

1	市立病院の施設が老朽化していて、患者としてとても不安だ。早急な移転、新築をしてほしい。	B	小田原市立病院経営改革プランP25に「病院の建替えに向けた取組」を載せており、小田原市総合計画との整合性を図りつつ、建替えを前提とした新病院の施設整備に向けて取り組んでいきます。
---	---	---	---

(2) 保育施設の一時利用に関すること

	意見の内容（要旨）	区分	市の考え方（政策案との差異を含む）
1	妊婦等、小さい乳幼児を抱えた状況で受診する際、保育施設が一時利用できないか。	D	院内保育所は、市立病院の医療従事者が安心して働けるよう設置している施設ですが、あらかじめ予約により把握した子ども的人数に応じて、保育士的人数を調整しているため、患者の方の子どもの一時的利用の受入れにより、さらに人数が変動することへの対応は困難です。

4 提出意見と関係なく変更した点

	政策案との差異	市の考え方
1	P12「(ウ) 建物設備の状況」の1行目の始めを「現在の病院施設は、昭和56年の建築基準法の改正による新耐震基準に適合していますが、」とします。	より具体的で分かりやすい表現にしました。
2	P18「4経営改革の進め方(1)基本方針」の2段目を「経営改革にあたっては、収益と費用のバランスがとれた健全な病院経営の実現、それを支える人材の確保・育成及び職員の改革意識の醸成並びに建物設備の更新を基本方針とし、各種の数値目標を定め、たうえで経営改革に取り組んでまいります。」とします。	より具体的で分かりやすい表現にしました。

3	<p>P 1 9「(3) 主な経営指標に係る数値目標と考え方 (イ) 経費削減に係る数値目標」の表中「後発医薬品の使用割合 (%)」を</p> <table border="1" data-bbox="304 309 802 454"> <thead> <tr> <th>27年度(実績)</th> <th>28年度(見込)</th> <th>29年度</th> <th>30年度</th> <th>31年度</th> <th>32年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>61.4</td> <td>65.1</td> <td>70.0</td> <td>75.0</td> <td>80.0</td> <td>80.0</td> </tr> </tbody> </table> <p>とします。</p>	27年度(実績)	28年度(見込)	29年度	30年度	31年度	32年度	61.4	65.1	70.0	75.0	80.0	80.0	<p>国は、後発医薬品の使用割合を「平成 30 年度から 32 年度末までの間のなるべく早い時期」に 80%とすることを目標としていることを考慮し、31 年度に 80%となるように再設定しました。</p>
27年度(実績)	28年度(見込)	29年度	30年度	31年度	32年度									
61.4	65.1	70.0	75.0	80.0	80.0									
4	<p>P 2 4、2 段目を「新改革プラン策定にあたって、改めて選択し得る経営形態について検討した結果、当院は県西二次保健医療圏において唯一の三次救急を担う医療機関であるとともに、地域の基幹病院として公立病院に求められる救急医療、小児医療、周産期医療といった不採算医療を守る役割があることから、今後の経営形態としては、より公的な責任が明確である地方公営企業法の一部適用を含めた公営型であると判断しました。」とします。</p>	<p>より具体的で分かりやすい表現にしました。</p>												
5	<p>P 2 4、5 段落目を「公営型の経営形態の中でこれらの課題を解決するためには、最も経営の自由度が高い地方独立行政法人化が最適であると想定しています。」とします。</p>	<p>より具体的で分かりやすい表現にしました。</p>												